（別紙）

兵庫県保育大会表彰受賞者一覧

分野	取組概要	被 表 彰 者
保護者支援・ 子育て支援	在園児の保育参観と同じ日に、地域で子育て中の親子（未就園の親子）対象の入園体験日を設定。未就園の親子は、子どもの年齢に対応する園のクラスに招かれて園体験ができるという取組が展開されている。 こうした工夫によって、同年齢の子どもの様子を実際に見ることができる地域の保護者には、子育てや子どもの育ちに関する学びや気づきが生まれる。 また、地域で子育て中の保護者と在園児の保護者との間に自然な交流が生まれることで、保護者が互いの悩みを共有・相談し合ったり、在園児保護者の経験談を地域の保護者が聞けたりするため、孤立した子育てが解消・予防できるという効果にもつながっている。	社会福祉法人ひこばえ福祉会 幼保連携型認定こども園 まあるこども園 （宍粟市）
食育・アレルギー対応	「なかよし給食（食物アレルギーのある園児が食べられるのだが、そうでない園児もおいしく食べられる献立を皆で一緒に楽しむ）」を月の半分程度の回数で導入するという取組である。 この給食では、アレルギーのある園児が摂取してもよい調味料、アレルギーを起こさないが栄養価・味などは通常のものに近い食材を使うことで、安全で栄養のバランスも考えられた献立が使われる。 「なかよし給食」によって、アレルギーのある園児だけが「特別」という意識が薄れ、園児たちは楽しい雰囲気の中で笑顔の絶えない給食の時間を過ごすようになっている。また、この給食の日には、誤配・誤食の心配がないため、保育教諭、栄養士・調理師の緊張感が減じられている。	社会福祉法人キューピット福祉会幼保連携型認定こども園 キューピットこども園 （播磨町）

乳児保育・ 幼児保育	地域の営農者の協力を得て、園児は、泥んこあそび（代掻き）、田植え、カカシ制作、害虫・鳥の駆除、稲刈りと米づくりのプロセスを一通り経験する。園ではバケツによる稲作もおこない、日々の作物の世話も体験する。 米の色の変化について調べたり、農家や家庭で米づくりをしている人々の話を聞いたりすることが、園児と地域の人々の関わりや交流を促している。 普段食べているお米が、どのようにしてできているのかを知ることで、園児には、食べ物を大切にしようとする気持ちや農家の人々への感謝の気持ちが育まれる。また、園児の食に対する興味や食べる意欲が高められる。	社会福祉法人神崎福祉会立 神崎保育園 （神河町）